

太陽誘電の歩み

1950年

1950年 3月

太陽誘電株式会社設立

佐藤彦八 創業社長と設立当時の営業拠点(東京都千代田区)



1950年 9月

チタン酸バリウム磁器コンデンサ「ルチルコン」を商品化



1954年 9月

小型フェライトコア「フェリットコア」の生産開始

1960年

1964年 9月

技術研究所を設立

1965年

自社製フェライトコアを用いたインダクタを商品化



1967年 5月

台湾・台北市に初の当社現地法人「台湾太陽誘電股份有限公司」を設立

1970年

1970年 3月

東京証券取引所市場第二部に上場、1973年には一部に指定替え

1976年 7月

アキシシャルリード型磁器コンデンサを世界で初めて商品化



1977年 4月

アキシシャルリード型インダクタを商品化

1977年10月

世界初の円筒チップ型磁器コンデンサを開発

1980年

1984年 7月

ニッケル電極大容量積層セラミックコンデンサを世界で初めて商品化



1986年 6月

EMCセンターを開設

1988年 9月

世界初の追記型光記録メディア「CD-R」の商品化を発表



1990年

1998年 6月

電源回路用巻線チップインダクタ「LBシリーズ」を商品化

1998年11月

R&Dセンターを開設



2000年

2000年

海外4生産拠点を同時立ち上げ

2001年 4月

Bluetooth®フルモジュール、Bluetooth®規格 Ver1.1 認証を世界で初めて取得

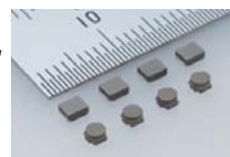
2010年

2010年 3月

太陽誘電モバイルテクノロジー株式会社を子会社化

2012年 5月

メタル系パワーインダクタ「MCOIL™(エムコイル)」を商品化



2014年 9月

0201サイズ積層セラミックコンデンサを商品化

